

科目番号	科目名	責任者	学年
L4102	地域医療学総論	小谷 和彦	1 学年

○ねらい

- 1) 地域医療の概要を理解する。
- 2) 地域志向の基本を理解する。

○到達目標 (モデルコアカリキュラム 対応項目)

- A-1-3 : プロフェッショナリズム-医師としての責務と裁量権
- A-7-1 : 社会における医療の実践-地域医療への貢献
- B-1-8 : 集団に対する医療-保健・医療・福祉・介護の制度
- B-4 : 医療に関連のある社会科学領域

○コンピテンシー (ディプロマポリシー 対応項目)

- I-2 : 他者への理解
- Ⅲ-1 : 地域特性を踏まえた地域医療の実践
- Ⅲ-2 : チーム医療と多職種連携
- Ⅲ-3 : 地域包括ケア
- Ⅲ-4 : 地域における予防と健康増進
- Ⅲ-5 : 地域分析および学際的研究

○教科書

- 1) 自治医科大学「Dr. ジチ - 医療の谷間に灯をともし人々」、下野新聞社、2006
- 2) 自治医科大学「地域医療テキスト」、医学書院、2009
- 3) 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会「地域医療学入門」、診断と治療社、2019

○参考書

- 1) 中村伸一「寄りそ医 支えあう住民と医師の物語」、KADOKAWA、2011
- 2) 小谷和彦 地域志向アプローチin「総合診療専門研修の手引き (草場鉄周編集)」、中山書店、2016

○視聴覚資料

状況次第で指定する。

○授業内容、授業項目

年月日(曜) 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
<b>講義</b>			
2023年9月29日(金) 3	1 地域医療の概観	小谷 和彦	地域医療学部門
2023年10月13日(金) 2	2 プライマリ・ケア、家庭医療、総合診療	小谷 和彦	地域医療学部門
2023年10月18日(木) 5	3 地域医療におけるデータの活用	寺裏 寛之	地域医療学部門
2023年10月27日(金) 1	4 医療人類学とコミュニティ	中村 晃久	地域医療学部門
2023年11月10日(金) 1	5 へき地診療所における実践	中村 伸一	外来講師
2023年11月17日(金) 1	6 健康問題とそのアプローチ (救急・災害医療を含む)	寺裏 寛之	地域医療学部門
2023年11月27日(月) 1	7 地域診断学 (地域経済を含む)	菊本 舞	外来講師
2023年11月28日(火) 1	8 地域医療システムに関する制度 (地域枠制度を含む)	松本 正俊	外来講師
2023年12月1日(金) 1	9 地域志向性や広域連携を伴う病院医療の実践	後藤 忠雄	外来講師
2023年12月8日(金) 1	10 地域医療学教育 (キャリア形成を含む)	小谷 和彦	地域医療学部門

○成績評価方法

原則として試験結果を基に行う。なお、態度に対する評価を加味する。

○試験方法

多肢選択問題で行う。筆記問題を加えることもある。

○フィードバックの方法

解答等を掲載する。

○準備学修 (予習・復習)

学修事項に関して資料の下調べをする (予習90分、復習90分)。

科目番号	科目名	責任者	学年
L4207	地域医療学各論4	小谷 和彦	5 学年

○ねらい

- 1) 地域医療を実践する上で必要な知識、技術、態度を具備する。
- 2) 地域社会における医療の役割を踏まえて振る舞える。

○到達目標 (モデルコアカリキュラム 対応項目)

- A-2 : 医学知識と問題対応能力
- A-3-1 : 診療技能と患者ケア-全人的実践的能力
- A-5-1 : チーム医療の実践-患者中心のチーム医療
- A-7-1 : 社会における医療の実践-地域医療への貢献
- C-2-2 : 個体の構成と機能-組織・各臓器の構成、機能と位置関係
- D-2-1 : 神経系-構造と機能

○コンピテンシー (ディプロマポリシー 対応項目)

- II-1 : 医師に必要な教養と医学的知識
- II-4 : 科学的探究
- III-2 : チーム医療と多職種連携
- III-3 : 地域包括ケア
- III-4 : 地域における予防と健康増進
- III-6 : 地域のリーダーとリーダーシップ

○教科書

- 1) 自治医科大学「地域医療テキスト」、医学書院、2009
- 2) 日本プライマリ・ケア連合学会「基本研修ハンドブック」南山堂、2017
- 3) 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会「地域医療学入門」、診断と治療社、2019

○参考書

- 1) 小谷和彦「参加者の心と体を動かす健康教室の実践」、羊土社、2008
- 2) 小谷和彦「地域包括ケア時代における行動変容と継続支援」、じほう、2016

○視聴覚資料

状況次第で指定する。

○授業内容、授業項目

年月日(曜) 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
<b>講義</b>			
2023年4月7日(金) 5	1 地域包括ケアと多職種連携	小谷 和彦	地域医療学部門
2023年4月14日(金) 5	2 地域における外来診療	中村 晃久	地域医療学部門
2023年4月21日(金) 5	3 社会学的視点のある地域医療	小谷 和彦	地域医療学部門
2023年5月12日(金) 6	4 福祉・介護系サービス	中村 晃久	地域医療学部門
2023年5月19日(金) 5	5 病診連携 (ICTの活用を含む)	寺裏 寛之	地域医療学部門
2023年5月26日(金) 5	6 診療関連書類や指示書の作成と活用	中村 晃久	地域医療学部門
2023年6月2日(金) 6	7 医療機関の運営 (働き方改革を含む)	中村 晃久	地域医療学部門
2023年6月16日(金) 6	8 地域予防医療 (行動科学を含む)	小谷 和彦	地域医療学部門
2023年6月30日(金) 6	9 在宅医療	山中 崇	外来講師
2023年7月14日(金) 6	10 へき地・離島医療	小谷 和彦 小泉 圭吾	地域医療学部門 外来講師

○成績評価方法

原則として試験結果を基に行う。なお、態度に対する評価を加味する。

○試験方法

多肢選択問題で行う。筆記問題を加えることもある。

○フィードバックの方法

解答等を掲載する。

○準備学修 (予習・復習)

講義内容に関して資料を調べてまとめる (予習90分、復習90分)。

実習全体の概要	指導教員名	小谷 和彦	所属講座	地域医療学部門
---------	-------	-------	------	---------

実習の目的： 地域医療（含へき地医療）を第一線の現場で体験する。  
 地域医療に対する動機を明確にする。  
 地域医療人としての将来設計（キャリア形成）をする。

実習の内容： 各自の原則として出身都道府県の臨床教員（地域担当）が調整する医療機関で実習する。この医療機関は診療所～中小規模の病院を主とする（Community-Based Clinical Clerkship：CB（C）L）。

M5：全員必修（8月21日 [5年生授業開始日] ～9月1日）：原則として出身都道府県で行う。

事前にオリエンテーションを行う。第1回オリエンテーション後に速やかに各都道府県の臨床教員（地域担当）と連絡を取り、実習についての確認を行う。臨床教員（地域担当）は実習現場（指導医）を指定する。

基本的にクリニカルクラークシップに基づき、医療チームの一員として活動する。

推奨するプログラムとして外来と病棟の総合的な診療に加え、以下の経験を重視する：

- ①地域包括ケア
  - ②予防医療
  - ③在宅医療
  - ④介護・福祉系サービス
  - ⑤地域診断（社会医学的視点）
  - ⑥多職種連携とチーム医療
- ※地域の文化に接する機会（推奨）

実習初日 集合場所ならびに集合時間：実習先の指導医の指示による。

集合場所・  
オリエン  
テーション：

事前準備・ 実習先の指導医の指示による。  
用意しておくもの：

モデルコア カリキュラム A-3-1- 診療技能と患者ケア - 全人的実践的能力

対応項目： A-7-1- 社会における医療の実践 - 地域医療への貢献

医行為： 実習先の指導医と相談する（医学生が実習で許される医行為に準ずる）。

### ◇評価方法

レポート 100点（臨床教員による評価を含む）

なお、態度の評価および実習報告会での言動も加味する。

### ◇欠席する場合の連絡先

各実習施設および地域医療学部門

### ◇指導教員

◎：科目責任者      ○：BSL 担当指導教員

指導教員名		所属講座	
教 授	◎小 谷 和 彦	地域医療学センター	地域医療学部門
助 教	○中 村 晃 久	地域医療学センター	地域医療学部門
助 教	寺 裏 寛 之	地域医療学センター	地域医療学部門

### ◇注意事項

1. 事前にオリエンテーションを行う（必ず出席する）。
2. 実習報告書の提出期限は9/11（月）の17：00（厳守／以後の受付は不可）とする。
3. 実習報告会（学内）は9/21（木）6限に行う。
4. 体調や安全に配慮して実習に臨む。

実習全体の概要	指導教員名	小谷 和彦	所属講座	地域医療学部門
---------	-------	-------	------	---------

- 実習の目的： 1) 原則として、各出身都道府県の拠点病院での現場体験をする。  
 2) 拠点病院での実践に触れながら、自らの将来設計（キャリア形成）を考える。  
 3) 指導医のもとで患者を受け持って、主体性や責任感を育む。

実習の内容： 原則として、各自の出身都道府県の拠点病院で行う。  
 クリニカルクラークシップの基で実施する。指導医のもとで、可能な限り、医師と同様に行動する。また、可能な範囲内で診療録に記載する。

※学修すべき項目

- ・ 外来診療（初診、再診、救急）
- ・ 入院診療
- ・ 医療面接
- ・ 身体診察
- ・ 診断の進め方
- ・ 検査の選択
- ・ 治療の選択
- ・ 患者への説明と患者の意思決定支援
- ・ リハビリテーション
- ・ 紹介（コンサルテーション）や逆紹介の方法

実施期間（M6）

1. 2023年5月8日（月）～2023年6月2日（金）（第4クールと呼ぶ：全員必修）
  2. 2023年6月5日（月）～2023年6月30日（金）（第5クールと呼ぶ：選択）
- ただし、2. の選択にあたっては M5 総合判定試験および BSL の態度に関する結果等が加味される。

実習初日 集合場所：各自の実習先  
 集合場所・ 集合時間：8：30（各施設の指示に従う）  
 オリエンテーション：オリエンテーション：実習は M6 時に行うが、M5 後半に事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。その際に、受け入れ可能な実習施設の情報を提示する。Moodle でアナウンスする。

事前準備・ 各自の実習先に確認する。  
 用意しておくもの：

モデルコアカリキュラム A-3-1- 診療技能と患者ケア - 全人的実践的能力  
 対応項目： A-5-1- チーム医療の実践 - 患者中心のチーム医療

医行為： 診療記録記載（診療録作成）、医療面接、バイタルサインチェック、診察法（全身・各臓器）

### ◇評価方法

出席	25点
レポート	50点
態度	25点
合計	100点

### ◇欠席する場合の連絡先

各実習施設および地域医療学部門

### ◇指導教員

◎：科目責任者    ○：BSL担当指導教員

指導教員名		所属講座
教授	◎小谷和彦	地域医療学センター 地域医療学部門
助教	○寺裏寛之	地域医療学センター 地域医療学部門
助教	中村晃久	地域医療学センター 地域医療学部門

### ◇注意事項

1. 実習報告書の期限は、

(第4クール) 2023年6月12日(月) 17:00 ※厳守/以後、受付不可。

(第5クール) 2023年7月10日(月) 17:00 ※厳守/以後、受付不可。

実習報告書は実習先に送付する。

2. 自治医大の規程に従って交通費及び宿泊費(素泊まり料金。食事は自己負担)は、後日精算する(オリエンテーションで説明する)。

3. 体調や安全に配慮して実習に臨む。